

平成19年度第3回秦野市入札監視委員会議事概要

日 時	平成20年2月4日(月) 午後2時00分から5時00分まで
場 所	秦野市役所 本庁舎4階 議会第3会議室
出席者	(委 員) 石田委員長、荒川委員、石島委員、内山委員、遠藤委員
	(事務局) 芦川契約課長、三竹契約班主幹 飯沼主査、猪野主任主事

審議案件一覧表

業 種	執行方法	案件番号	案 件 名
工 事	条件付き一般競争 (電子入札)	4	平成19年度 猿渡取水場改修工事
		5	平成19年度 第1号公共下水道中央処理区第五分区第一号幹線整備工事
		66	平成19年度 芦谷雨水ポンプ場及び芦谷雑排水ポンプ場修繕
		67	平成19年度 八幡山配水場自家発冷却タンク設備更新工事
		68	平成19年度 今泉第二マンホールポンプ場外補修工事
		70	平成19年度 秦野市浄水管理センター管理棟空調設備クーリングタワー修繕
		76	平成19年度 羽根水源井戸さく井工事
コンサル タント	条件付き一般競争 (電子入札)	6	平成19年度 秦野市表丹沢野外活動センター測量委託業務
委 託	指名競争 (電子入札)	2	平成19年度 秦野市下水道施設自家発電設備保守点検委託業務
		4	平成19年度 秦野市下水道消防設備保守点検委託業務
		9	平成19年度 くずは台東公園外5公園樹木剪定委託業務
	指名競争	1	平成19年度 ふるさと里山整備事業委託業務(羽根)
		3	平成19年度 ふるさと里山整備事業委託業務(弘法山)

[議事概要]

1 案件の審議

質 問	回 答
<p>1 工事の条件付き一般競争入札案件について (案件番号4・5番) 高額案件で、申請者数に対して参加者数が少ない理由</p> <p>資本関係が同じ業者があるか</p> <p>辞退業者が多いが、その理由を求めているか</p> <p>入札参加申請期間が短いのが、参加者を少なくしていると思うが</p> <p>辞退者の問題もあるが、高額案件で、5者でよとするのか</p> <p>頻繁に不着(辞退)のみするようであれば、公表する等の措置が必要ではないか</p> <p>(案件番号66・67・68・70番) 申請者・入札参加者共に少なく高落札率の原因</p> <p>2者の参加者は市内業者ですか</p> <p>特定のメーカーでなければ、できないようなケースであれば、あえて一般競争入札にする必要はないと思うが</p> <p>他市等と参加業者の情報交換をしていますか</p> <p>どのくらいの業者が、見てくれたか設計図書のダウンロード数を把握できないか</p> <p>(案件番号76番) 入札参加者数が多い割には</p>	<p>これらの案件は、近接工事の条件があることや地理的条件など比較的難易度が高いため、入札参加申請後に詳細な内容を検討した結果、金額の折り合いなど入札を見合わせ、入札者数が少数となったものと考えます。</p> <p>代表取締役が同じということはありませんが、兄弟関係の業者はあります。</p> <p>特に理由は求めているが、以前に確認した事例はあります。その時は、積算したが金額が折り合わないという意見が一番多い意見でした。</p> <p>このような状況が続くのは好ましくないと考えております。</p> <p>条件付き一般競争入札に移行するときに参加業者が増えると予測していたが、むしろ業者が、案件を選んでくるので、他市などでも参加業者が少なくなる傾向のようです。</p> <p>有効な手段だと思えます。</p> <p>66・67・68番は2者で70番は3者の参加となっています。これらの案件は、機械の修繕であり、そのメーカー製の部品かその機械に適合した同等の製品を指定しており、他のメーカーの機械処理が難しいことや、稼働中の機械であり、特殊なものは設計でなく見積もりをとっていることが、参加数を少なくしていると考えています。</p> <p>1者は市内に営業所があり、もう1者は県内事業所です。</p> <p>1者随意契約は、皆無ではないが、市の方針は、基本的に競争入札としています。</p> <p>個別案件について、情報交換はしていません。</p> <p>技術的にできないことはないと思うが、難しいと思います。</p> <p>この案件の参加条件は、東京、神奈川に本支店のある業者</p>

<p>高落札の原因</p>	<p>ですが、市内に登録のある業者はいません。 ボーリングという特殊な業種で、一部見積により設計している部分もあり、結果的に落札率が高くなったと考えています。</p>
<p>(委員意見等)</p> <p>入札参加申請期間を長くする方がよいのではないか 入札不着(辞退)の内容を調査し、公表または、把握することはできないか 業者間の資本提携関係を調査できないか 高額案件で入札を認める場合の参加業者数の妥当性について 機械器具の修繕等の限られた参加者の案件について、他市の取扱状況を調査されたい</p>	
<p>2 コンサルタント案件について (案件番号6番)</p> <p>測量業務の参加者数が、10者の案件が多い理由</p> <p>必ず10社の参加ですか</p>	<p>測量業務については、市内本支店の要件を満たす登録業者が、10者です。</p> <p>常に10社ということはない。 また、測量で設計金額500万円以上の案件の所在地要件は、近隣市まで拡大しています。</p>
<p>3 委託案件について(電子入札) (案件番号2・4番)</p> <p>設備保守管理での高落札率の原因</p> <p>落札者がいつも同じということはありませんか</p> <p>(案件番号9番)</p> <p>最低制限価格の乗じる割合について90%でないのか</p> <p>最低制限価格の規定は、どこにありますか</p>	<p>過去の契約実績を考慮した中での予算計上をしており、積算が厳しいこともあり、落札率が高くなっていると考えられます。</p> <p>今回の落札業者は、本市では初めてです。 4月から条件付き一般競争入札に移行します。</p> <p>昨年の10月から試行的に樹木剪定業務に最低制限価格を適用しています。 委託業務については、コンサルタント案件と同様、平均額に乗じる割合は、80%としています。</p> <p>秦野市変動型最低制限価格取扱要綱第4条です。</p>
<p>4 委託案件について (案件番号1・3番)</p> <p>申請者・入札参加者共に少なく高落札率の原因</p>	<p>この業務は、環境保護の観点から荒れた森林の整備を進めるための事業として行われているもので、業務内容から森林作業師の資格を有している者、山林の地理を熟知している等を考慮した参加資格の設定をしたもので、条件に合う市内業者が2者であったものです。 設計にあっては、神奈川県土木工事等設計概要(治山編)により積算していますが、この基準は公表されています。</p>

<p>この案件は2回目の入札で落札しており、非常に高い落札率になっていますが、予定価格は公表していますか</p>	<p>委託案件の予定価格は、公表していません。 4月から条件付き一般競争入札に変わるので、地域要件の範囲を広げていきたいと思えます。</p>
<p>(委員意見等)</p> <p>この案件については、参加業者を増やすことを考えて執行して下さい。</p>	

2 その他の質問事項

質 問	回 答
<p>最低制限価格が適用されている案件とそうでない案件があるがその理由は</p>	<p>平成16年度の制度改善で工事における設計金額により、予定価格の80%又は、85%とする定率での最低制限価格を適用していましたが、平成18年度からは、変動型最低制限価格を採用しました。 コンサルタント案件については、昨年4月から建築設計については10月から最低制限価格を適用しており、一般委託についても本年4月から適用する予定ですので、適用があるものと無いものが、混在している状況です。</p>
<p>入札不調に終わった案件の再発注状況について</p>	<p>入札が不調となった場合、設計の変更又は、所在地要件を拡大して再発注します。 今回の案件一覧で2件ありましたが、1件は次回資料に表示されます。もう1件は、選定業者数を増やして再発注しましたが、不調となったため、他自治体の発注状況や緊急性から随意契約で契約しました。</p>

3 その他

次回会議開催予定は、平成20年6月2日(月)午後2時からとします。